

- 1 アメリカのペリーが黒船を率いて日本に開国を迫るために浦賀へ来航した年はいつ？
- 2 ペリー来航により崩壊した、江戸幕府が長く続けていた外交方針のことを何という？
- 3 1854年の開国以前、江戸幕府がとっていた外交政策を何という？
- 4 幕末の開国後、日本と外国で金や銀の価値の比率が異なっていたために起こった、金貨が大量に流出した原因を何という？
- 5 1860年、大老の井伊直弼が水戸藩の浪士らによって江戸城桜田門外で暗殺された事件を何という？
- 6 長州藩が外国艦隊の報復攻撃を受けたり、薩摩藩がイギリスとの衝突を経験したりする中で、尊王攘夷から方針を転換するきっかけとなった、長州藩を攻撃した連合艦隊を何という？
- 7 四国艦隊下関砲撃事件を引き起こし、幕末に尊王攘夷運動の拠点となっていた藩はどこ？
- 8 アメリカがペリーを派遣するきっかけとなった、1840年に清がイギリスと戦った戦争を何という？
- 9 1854年にアメリカと開国の交渉を行い、日米和親条約を結んだ当時の日本政府を何という？
- 10 1853年にペリーが浦賀へ来航した際に率いてきた、当時の日本人が驚いた蒸気船などの近代的な軍艦を何という？
- 11 幕末に流行した「ええじゃないか」という民衆運動は、天から何が降ってきたという噂をきっかけに始まりましたか？
- 12 幕府が1825年に出した、近づいてくる外国船を武力で追い払うように命じた法令を何という？
- 13 安政の大獄で処罰された、長州藩出身の思想家・教育者で、松下村塾で多くの志士を育てた人物は誰？
- 14 1861年に始まったアメリカ南北戦争の最中に、奴隷解放宣言を行い、国家の統一を訴えた大統領は誰？
- 15 坂本龍馬が1865年に長崎で結成した、のちの海援隊の前身となった組織を何という？
- 16 幕末の貿易において、国内外での銀に対する金の価格差を利用して、金が海外へ大量に流出した原因となった要素を何という？
- 17 幕末の貿易開始後、生糸などの輸出が急に増えたことで国内の品物が不足した結果、物価はどうなったか？
- 18 開国直後、当時の日本の貨幣制度の仕組みを悪用され、海外へ大量に流出したものは何という？
- 19 ペリー来航の結果、1854年に日本がアメリカと結んだ開国のための条約を何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	1853年、ペリーは蒸気船を含む4隻の軍艦を率いて浦賀に入港しました。		1853	☐
2	長年にわたり、外国との交流は長崎でのオランダや中国との限られた貿易のみに制限されていました。		鎖国	☐
3	長崎の出島を拠点に、中国やオランダなど限られた相手のみと限定的な交易を行う体制でした。		鎖国	☐
4	外国商人は、海外に持ち出すと価値が高くなる日本の金貨を、銀貨と交換して大量に持ち出しました。		金銀交換比率	☐
5	1860年、登城中だった井伊直弼が、水戸藩の浪士らによって襲撃され、殺害されました。これが桜田門外の変です。		桜田門外の変	☐
6	1864年、イギリス・フランス・アメリカ・オランダの4か国が連合艦隊を結成し、長州藩の下関の砲台を激しく攻撃しました。		四国連合艦隊	☐
7	長州藩は幕府の命令に反して、関門海峡を通過する外国船を砲撃しました。		長州藩	☐
8	清政府がアヘンの取り締まりを強化したことに反発し、イギリスが武力で開国を迫ったことで勃発しました。		アヘン戦争	☐
9	江戸幕府は、将軍を頂点に、将軍と大名が土地と人々を支配する幕藩体制をとっていました。		江戸幕府	☐
10	船体が黒く塗られていたことから、当時の人々はこれらを黒船と呼びました。		黒船	☐
11	「ええじゃないか」は、天から神札（伊勢神宮などの護符）が降ってきたという噂が各地に広がり、民衆がそれをきっかけに歌い踊りながら練り歩いた民衆運動です。		神札	☐
12	1825年、江戸幕府は「異国船打払令」を出し、日本に近づく外国船を無条件で攻撃して追い払うよう命じました。		異国船打払令	☐
13	吉田松陰は長州藩の教育者として、松下村塾で高杉晋作や久坂玄瑞ら、後の明治維新の中心人物となる若者たちを指導しました。		吉田松陰	☐
14	リンカーンは奴隷制の拡大に反対する立場から大統領に選ばれました。		リンカーン	☐
15	坂本龍馬が土佐藩などを脱藩した志士たちと共に、長崎で設立したのが亀山社中です。		亀山社中	☐
16	当時の日本は「金：銀＝1：5」程度でしたが、欧米では「1：15」程度でした。		金銀交換比率	☐
17	輸出の増加により国内の在庫が減り、供給が不足しました。		急に上がった	☐
18	当時の日本は金銀比価が金安だったため、外国人商人が銀を持ち込んで日本の金貨と交換し、それを海外で金と交換して大きな利益を得る「金銀交換比率の差を利用した投機」が横行しました。		金貨	☐
19	この条約によって、日本はアメリカ船に対する薪（たきぎ）や水、食料の補給を認めることとなりました。		日米和親条約	☐

言えなかった用語ノート